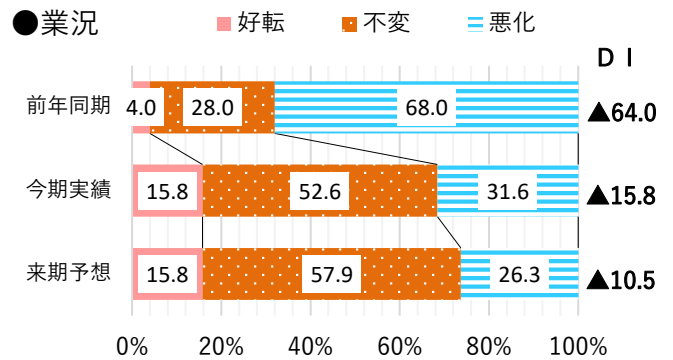


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

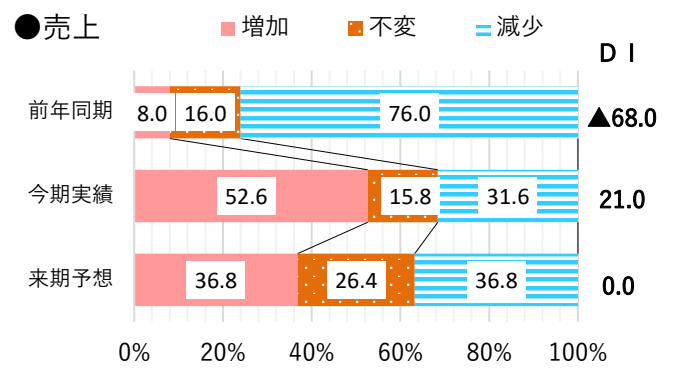
今期(2021.4～6)の業況判断DIは▲15.8で、前年同期(2020.4～6)と比べ48.2ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期(2021.7～9)は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



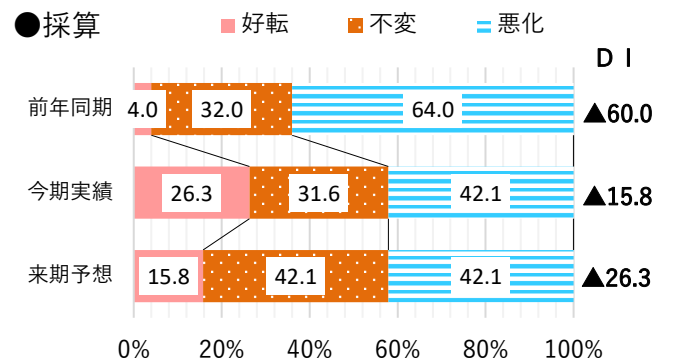
今期の売上DIは21.0で、前年同期と比べ89.0ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

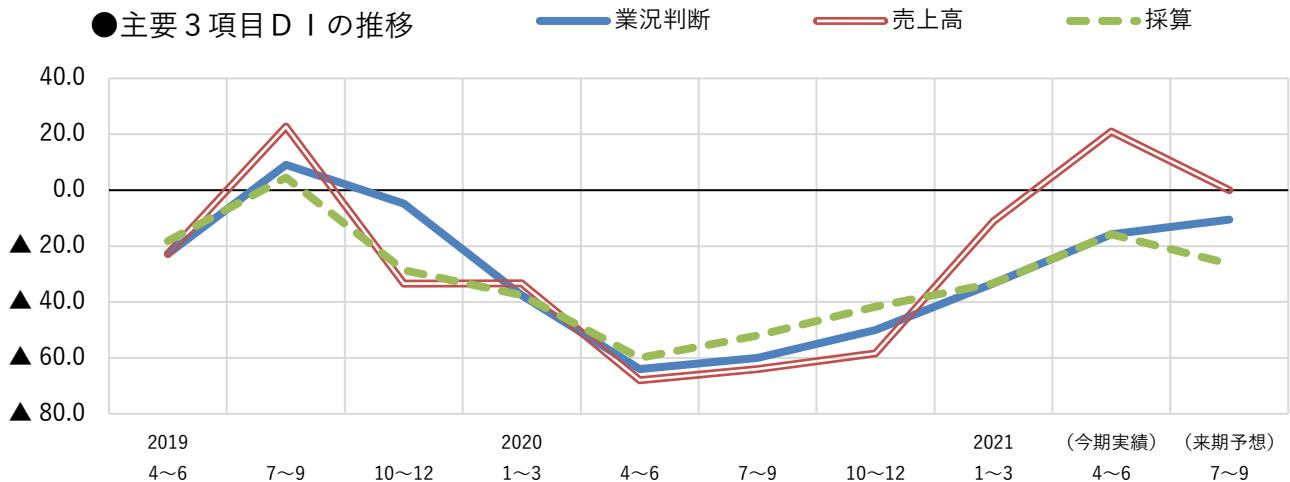


今期の採算DIは▲15.8で、前年同期と比べ44.2ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期は、採算の悪化傾向が強まると予想しています。



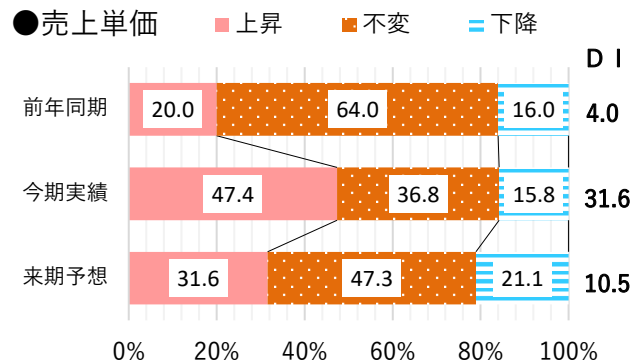
●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

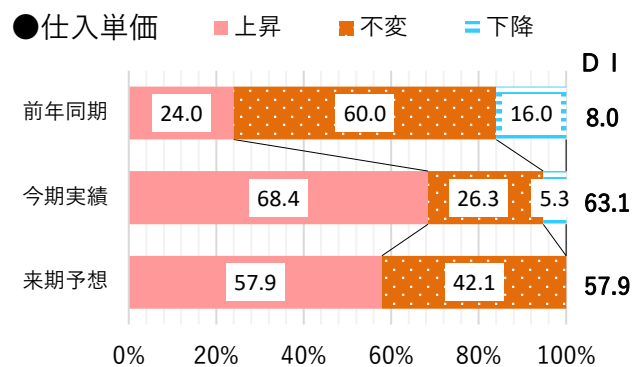
今期の売上単価DIは31.6で、前年同期と比べ27.6ポイント上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは63.1で、前年同期と比べ55.1ポイントと大幅に上昇しました。

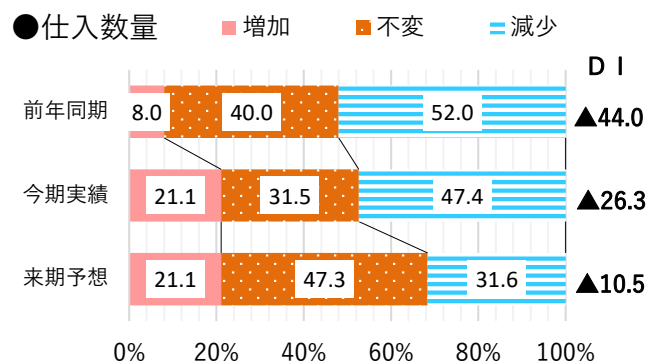
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

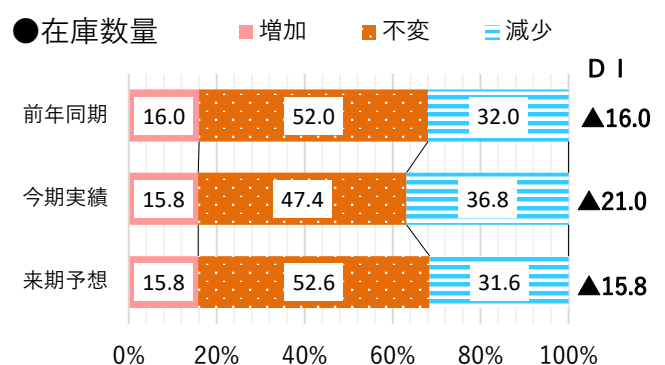
今期の仕入数量DIは▲26.3で、前年同期と比べ17.7ポイント上昇しました。

来期は、仕入数量の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲21.0で、前年同期と比べ5.0ポイント低下しました。

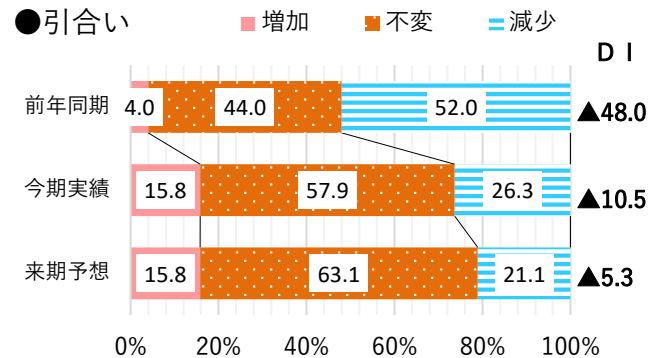
来期は、在庫数量の減少傾向が続くと予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲10.5で、前年同期と比べ37.5ポイント上昇し、大幅に増加しました。

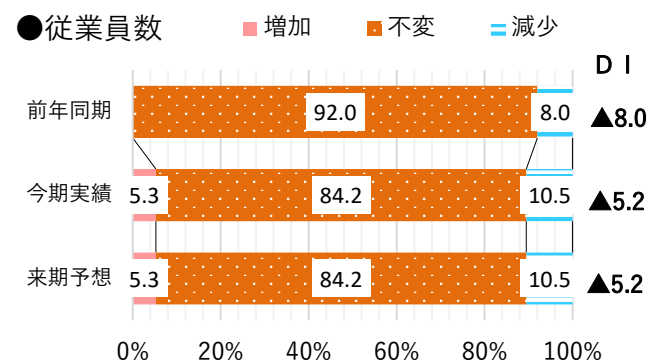
来期は、引合いの減少傾向が続くと予想しています。



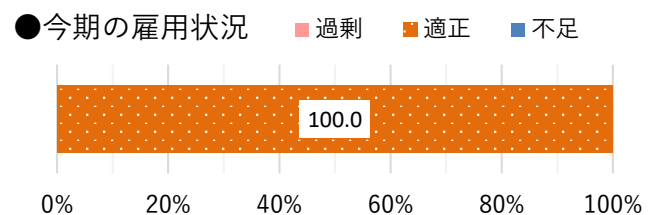
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲5.2で、前年同期と比べ2.8ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の横ばいを予想しています。



今期の雇用状況について、全ての企業が適正であると回答しました。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の84.2%を占めています。

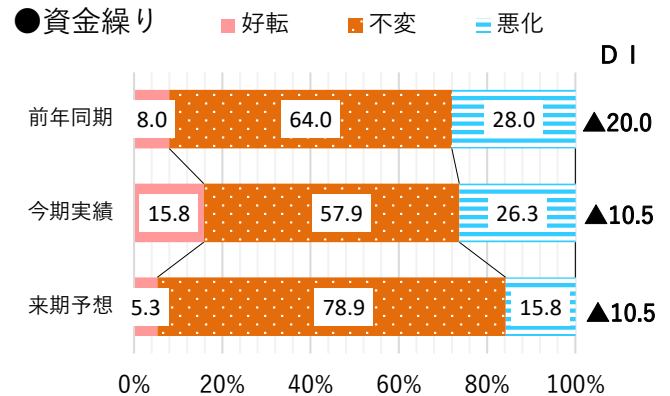
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、充足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	16
	不足	0
減少した	過剰	0
	適正	2
	不足	0

## 資金繰り、設備投資

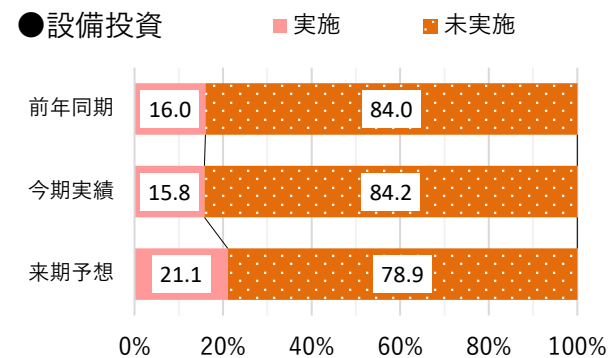
今期の資金繰りDIは▲10.5で、前年同期と比べ9.5ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの横ばいを予想しています。



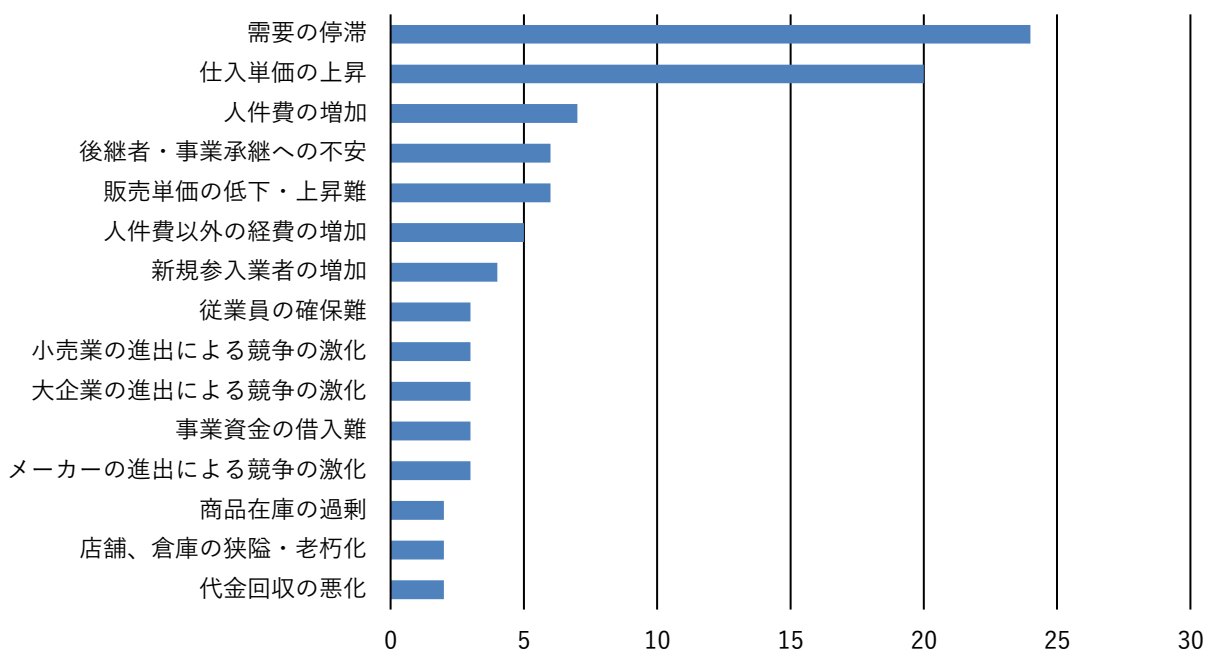
設備投資を実施した企業の割合は15.8%で、前年同期と比べ0.2%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「O A 機器」(同位)でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は21.1%で、増加を予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「人件費の増加」の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- アメリカを中心に、ワクチン接種率の上昇とともに原油価格が上昇傾向にあるが、日本はワクチンの供給が遅れているため、原油価格の上昇は来期にずれ込むと思われる。(石油卸売)
- 小樽、赤井川地区の新幹線工事がピークに入ったため、売上が増加した。(建築材料卸売)
- コロナ禍による売上減少に対し、飲食店には多様な補助制度がある一方で、飲食店への納入業者や他の業種への補助は弱いと思う。制度の拡充を期待する。(食料・飲料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響で取引先の経営が悪化し、自社も売上が減少した。(食料・飲料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響で売上が減少した。(食料・飲料卸売)
- 売上、収益ともに増加した。(食料・飲料卸売)
- 前年同期の売上を上回ったため、安心している。(自動車部品卸売)
- 宿泊業、飲食業が回復しなければ、売上は増加しない。官公庁への売上も伸び悩んだ。(事務用品卸売)
- 一部の取引先への販売額は、新型コロナウイルス流行前の水準まで回復しつつあり、売上は少し増加した。コロナ禍での生活に慣れた人が増えてきているように感じる。(塗料卸売)
- 急に仕入価格が上昇し、販売価格への転嫁に苦労している。(鉱物・金属材料卸売)

## [来期の業況について]

- 新幹線工事による好況が続くと思われる。(建築材料卸売)
- 売上は増加するが、収益は減少すると思われる。(食料・飲料卸売)
- 状況が改善しなければ、見通しが立たない。(食料・飲料卸売)
- コロナ禍による外出自粛等により、売上が減少した。(食料・飲料卸売)
- コロナ禍が終息し、従来の仕事の流れに戻ってほしい。苦境を乗り越える方策を考える。(自動車部品卸売)
- ワクチンの接種件数が増加すれば、少しずつコロナ禍以前の生活に戻り、売上が回復するのではないかと期待している。(塗料卸売)
- 仕入価格の上昇が決定的で、販売価格へ転嫁するしかない。需要は停滞を見込む。(鉱物・金属材料卸売)